

令和2年度 事業報告書

本公益財団は、その目的を達成するために本年度においては、次の事業を行った。

【国際的学術研究・情報発信事業】(公1)

I. 調査研究等

新型コロナのため実施せず。

II. 講演会の開催等

- ・一般社会人を対象とする公開学術講演会の実施(年1回)。

国内外の研究者を招いて、次のとおりシンポジウムを開催した。

(1) 京都大学経済研究所シンポジウム

「持続可能な社会のための政策デザイン～気候変動政策とエネルギー
転換～」

日 時 令和2年11月28日(土) 14:00～17:30

場 所 京都大学経済研究所会議室 (YouTube ライブによる放映)

III. 研究成果の公開等

- ・研究成果の発表及び刊行

特になし。

- ・研究成果の刊行・著書の購入・配布。

特になし。

IV. 図書及び資料の収集と整理等

- ・図書資料、文献資料の収集整備。

特になし。

V. その他、本公益財団の目的を達成するために適当と認められる事業の実施。

特になし。

【研究支援・助成事業】（公2）

公募の結果、シンポジウム助成2件、研究助成2件、計4件の助成を行った。

(1) シンポジウム名

「大規模災害の市場へのインパクト：その理論と分析」

申請者 田 園（龍谷大学経済学部・准教授）

(2) 研究テーマ

「アジアにおける国際分業の進展と産業構造の変化」

申請者 小林 拓磨（松山大学経済学部・准教授）

(3) 研究テーマ

「旧社会主義国間にみられる女性労働の多様性：女性労働のあり方を規定する要因の比較分析」

申請者 里上 三保子（創価大学経営学部・専任講師）

(4) シンポジウム名（新型コロナウイルスの影響により、未実施。翌年度以降に延期）

「(1) Workshop on Ambiguity in Dynamic Environments

(2) Workshop on Financial Risks and Their Management」

申請者 兵庫 一也（龍谷大学経済学部・准教授）